

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和7年 5月 15日</p> <p>東京都知事 殿</p> <p style="text-align: right;">提出者 住 所 静岡県三島市谷田60番地の3 氏 名 小野建設株式会社 代表取締役社 長 小野大和  (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 055-971-2020</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	小野建設株式会社
事業場の所在地	東京都台東区上野5丁目5-1
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 5,604,212,700円
③従業員数	89人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物処理計画書作成部署は品管・ICT推進部で作成をする。 産業廃棄総括責任者産業廃棄物管理責任者とする。 作業所（産業廃棄物→作業所内分別）→ 収集・運搬・処理業者（建設廃棄物委託契約書締結）→再生処理業者  ○廃プラスチック→中間処理業者に委託→再資源化 ○紙くず→中間処理業者に委託→再資源化 ○木くず→中間処理業者に委託→再資源化 ○繊維くず→中間処理業者に委託→再資源化 ○ガラス、陶磁器くず→中間処理業者に委託→再資源化 ○がれき類→中間処理業者に委託→再資源化

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図) 社長→産業廃棄物管理責任者(品管・ICT推進部)産業廃棄物処理計画書作成 ↓ 工事部 ↓ 排出事業者(現場代理人)→産業廃棄物管理者 ↓ ・収集運搬業者 ・中間処理業者 ・最終処分業者	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(令和6年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	0.84 t	21.61 t
	(これまでに実施した取組) ムリ、ムダ、ムラがをなくし、手直し作業等が発生しないように工程計画を立てている。 また、廃棄物の分類を細分化し、発生の抑制、再利用、再生利用に務めている。 常にVE提案や最も適切な工法を選択する事で省資源、省エネルギー化に務めている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	0.50 t	10.00 t
	(今後実施する予定の取組) 現状の抑制活動を維持しながら、各作業所における産業廃棄物の細分化した分類を徹底し、再生資源化および、リサイクル活動の強化を図るとともに、材料搬入時の過剰梱包の防止、木材、ボード類のプレカット搬入を図り排出量の抑制に努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄処分するものと再生利用するものの分類を行っている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各作業所における分類を強化し、再生資源、リサイクル活動に努め、有価物として売却できるものは売却処理とします。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
排出量	0.75 t	1,034.00 t	3.28 t	0.26 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
排出量	0.50 t	100.00 t	2.00 t	0.10 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類			
排出量	0.06 t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類			
排出量	0.10 t	- t	- t	- t

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
(今後実施する予定の取組)			

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類			
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類			
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類			
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類			
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	0.84 t	21.61 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.84 t	21.61 t
	再生利用業者への処理委託量	0.84 t	21.61 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t
(これまでに実施した取組) ・認定産業廃棄物処理業者の現地確認・委託契約書の適切な締結・委託先から情報を収集し、「産業廃棄物処理計画書」「再生資源利用計画書」「再生資源利用促進計画種」の作成・「マニフェスト（産業廃棄物管理票）」を確実に発行し、適正業者に委託する・上記の確認、作成、発行書類等の保管管理			

## (第4面) - 2

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
全処理委託量	0.75 t	1,034.00 t	3.28 t	0.26 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.75 t	- t	2.70 t	0.26 t
再生利用業者への処理委託量	0.75 t	1,034.00 t	1.12 t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類			
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類			
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類			
全処理委託量	0.06 t	- t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	0.06 t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	0.06 t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	0.50 t	10.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.50 t	10.00 t
	再生利用業者への処理委託量	0.50 t	10.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定産業廃棄物処理業者の現地確認・委託契約書の適切な締結・委託先から情報を収集し、「産業廃棄物処理計画書」「再生資源利用計画書」「再生資源利用促進計画種」の作成・「マニフェスト(産業廃棄物管理票)」を確実に発行し、適正業者に委託する・上記の確認、作成、発行書類等の保管管理</li> </ul>			
※事務処理欄			

【目標】				
産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
全処理委託量	0.50 t	100.00 t	2.00 t	0.10 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.50 t	- t	2.00 t	0.10 t
再生利用業者への処理委託量	0.50 t	100.00 t	1.00 t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類			
全処理委託量	0.10 t	- t	- t	- t
優良認定処理業者への処理委託量	0.10 t	- t	- t	- t
再生利用業者への処理委託量	0.10 t	- t	- t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。